

別記2【④自主事業の実施】

① 自然体験講座の開催

自然保護思想の普及活動の一環として、季節ごとのテーマを設定し、年10回開催した。

◇平成30年度伊豆沼・内沼自然体験講座

回数	テーマ	開催日	参加者数
第1回	水辺の生き物採集と観察会	6月16日	13名
第2回	水辺の生き物採集と観察会	7月8日	24名
第3回	昆虫採集と標本作り	7月22日	21名
第4回	昆虫採集と標本作り	8月4日	17名
第5回	伊豆沼漁師体験	8月18日	20名
第6回	伊豆沼漁師体験	9月2日	26名
第7回	ガンの飛び立ち観察会& ラムサール湿地見学ツアー	11月4日	19名
第8回	ガンの飛び立ち観察会& ラムサール湿地見学ツアー	11月18日	20名
第9回	ガンの飛び立ち観察会& 沼歩き探鳥会	12月8日	23名
第10回	ガンの飛び立ち観察会& 沼歩き探鳥会	1月19日	23名
	合計		206名

※ 予算内訳 収入 財団 計 11万円
 支出 諸謝金（講師謝礼等）、燃料費、保険料 計 11万円
 （経費が少ない理由は、財団職員が講師を行っているため。）

② 第28回伊豆沼・内沼の自然フォトコンテストの開催

栗原・登米両市との共催事業となっており、伊豆沼・内沼の重要性と環境保全の大切さをアピールした。なお、作品は12月に募集を行い、審査を経て、2月、3月県サンクチュアリセンターで全作品の展示を行った。（出品者96名、内入選者20名）

表彰式 平成31年2月11日（月）午後1時30分 県サンクチュアリセンター

＜第27回写真展巡回展示箇所（入選作品のみ）＞

登米市伊豆沼内沼サンクチュアリセンター	平成30年5月2日～5月30日
登米市市役所一階ロビー	平成30年6月1日～6月28日
栗原市市役所一階ロビー	平成30年7月3日～7月27日
栗原市サンクチュアリセンターつきだて館	平成30年8月1日～8月31日

※ 予算内訳 収入 栗原市40万 登米市30万 財団40万 計 110万円
 支出 旅費、通信、消耗品、印刷費、諸謝金（賞金等）計 110万円

③ 伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンの実施

伊豆沼・内沼はラムサール条約指定登録湿地として国際的にも注目される湖沼であり、美しい湖沼環境を保全するため、クリーンキャンペーン実行委員会と登米・栗原両市との共催により春分の日を実施した。

◇参加者数及びゴミの回収状況

開催回数	実施日	参加者数	ゴミの量	備考
第60回	3月21日	982人	573キロ	若柳地区397名310キロ

＜実行委員会メンバー＞

栗原市若柳自然保護協会、伊豆沼漁業協同組合、内沼観光物産協議会、迫川上流土地改良区、伊豆沼土地改良区、穴山土地改良区、新田北部土地改良区、宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会、財団

※ 予算内訳 収入 財団
支出 印刷 保険

計 5万円
計 4万円

④ バス・バスターズの活動（ブラックバス駆除ボランティア）

伊豆沼・内沼では、オオクチバスの影響によって沼から姿を消してしまった希少魚ゼニタナゴの復元を目指す「ゼニタナゴ復元プロジェクト」の一環として、ボランティア「バス・バスターズ」の協力を得て、オオクチバスの駆除活動を2004年から行っている。オオクチバスについては、人工産卵床14箇所及びふ化して間もない稚魚37個体を駆除した。なお、ブルーギルの産卵については確認されなかった。沼の生態系復元の目標であり、19年ぶりに平成27年度確認されたゼニタナゴは継続して沼で確認され、また、エビ類が増加するなど、魚介類の回復傾向は続いており、沼の自然再生が着実に進行していることを確認した。

- イ 会議 ○ゼニタナゴ復元プロジェクト会議 5月27日
 ・平成30年度のブラックバス駆除活動方針の協議
 ・人工産卵床設置作業

ロ 駆除作業

5月下旬から6月下旬までの毎週日曜日に人工産卵床の確認と駆除作業を行った。参加者数は延べ約125名となった。

⑤ 調査研究・普及啓発事業

伊豆沼・内沼の自然環境の保全管理のため、東北大学及び山形大学などの各種研究機関やシナイモツゴ郷の会をはじめ、各種団体との連携を密にし、調査研究並びに保全活動を行った。

また、10本の論文を掲載した伊豆沼・内沼研究報告第12号を発刊したほか、出前講座の実施やホームページの拡充など普及啓発に努めた。

さらに、小中学生の研修に積極的に対応するとともに、家族向けに昆虫採集や水生生物観察などの伊豆沼・内沼自然体験講座を開催した。オオクチバスの駆除や在来魚類の復元などにおいては、ボランティアと共に事業を推進した。

1 調査・検討会への参加状況

年 月 日	団 体 名
平成30年 4月12日	横山先生（山形大学）調査（年数回）
4月12日	東北区水産研究所打合せ
4月17日	環境省東北地方環境事務所打合せ
5月9日	宮城県希少野生動植物保護対策検討会（仙台市）
5月13日	山田先生（北海道大学）調査（～16日）
5月24日	ゼニタナゴ打合せ
6月14日	ロボットボートハス刈り調査（千葉県手賀沼）
6月15日	愛鳥週間ポスター審査会（県庁）
6月15日	魚取沼テツギョモニタリング調査
6月19日	鹿野先生（東北大学）調査（年数回）
6月20日	水野先生（東京大学）調査（～24日）
6月20日	山田先生（北海道大学）調査（～21日）
6月27日	海津先生（東京大学）調査（～7月1日）
7月4日	自然再生事業打合せ
7月15日	菊地理事長・安野氏調査（年数回）

	7月19日	米谷公民館メダカ飼育指導（登米市）
	7月19日	東京大学調査（～23日）
	7月30日	酪農学園大学研修生実習（8月2日）
	7月31日	水野先生（東京大学）調査
	8月1日	鈴木先生（酪農学園大学）調査（～2日）
	8月4日	海津先生（東京大学）調査（～9日）
	8月22日	遠野の景観保存調査委員会（遠野市）
	8月22日	千葉県レッドリスト検討会（千葉県）
	8月24日	豊田合成環境活動打合せ
	8月29日	東京大学・北海道大学・酪農学園大学合同調査（～9月2日）
	8月29日	環境研究総合推進費事業会議
	8月29日	自然再生事業学識経験者会議
	8月31日	渡り鳥調査打合せ
	9月20日	アドバイザーボード会議（東京大学）
	9月27日	北海道大学ネットワークカメラ調査（～5日）
	10月2日	魚類学会（東京都～7日）
	10月5日	渡り鳥飛来調査会議（大崎市）
	10月5日	東京大学ロボットボート調査
	10月5日	遠野市会議
	10月10日	バードリサーチ15周年大会（東京都）
	10月27日	コクガン調査（～11月3日）
	10月30日	モニタリング推進事業の会議（東京都）
	10月31日	山形大学横山先生植生調査
	11月1日	水処理生物学会（福島市～3日）
	11月2日	自然環境研究センターカモ捕獲調査（～13日）
	11月9日	酪農大ドローン調査（～21日）
	11月19日	自然再生協議会全国会議（静岡県～27日）
	11月26日	登米市環境審議会（登米市）
	11月27日	志津川湾ラムサール条約湿地意見交換（南三陸町）
	11月28日	カモ類捕獲及びGPS装着（～7日）
	12月3日	自然再生沈水植物部会
	12月4日	モニタリング1000ガンカモ類調査会議（東京都）
	12月11日	北海道大学ネットワークカメラ調査（～17日）
	12月15日	小山市視察
	12月21日	カモ類捕獲及びGPS装着調査（～9日）
平成31年	1月5日	登米市生物多様性会議（登米市）
	1月10日	南方町農地水視察
	1月13日	志津川コクガン勉強会（南三陸町）
	1月26日	コクガンモニタリング調査
	1月27日	酪農学園大学ドローン調査（～30日）

1月28日	自然再生事務局会議
1月31日	第60回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン打合せ
2月6日	伊豆沼第二、第三工区堤防敷一斉清掃（野火）打合せ
2月6日	国立科学博物館濱尾氏調査
2月7日	伊豆沼・内沼自然再生協議会（栗原市）
2月16日	伊豆沼・内沼研究集会
2月17日	酪農学園大学ドローン調査（19日）
2月18日	栗駒山麓ジオパーク推進協議会専門部会
2月20日	環境省事業打合せ
2月21日	全国タナゴサミット（金成）
2月24日	栗原地域観光セミナー
2月26日	山形大学横山先生植生調査
2月26日	環境省事業打合せ
3月1日	保健環境センター研究発表会
3月1日	県自然保護課・伊豆沼漁協ハス刈り打合せ
3月12日	トヨタ東日本打合せ
3月13日	登米市環境教育実践事業「イヌワシを探しに行こう」翁倉山
3月15日	登米市環境審議会（登米市）
3月26日	登米市環境審議会（登米市）

2 調査研究援助

- (1)鳥インフルエンザ簡易検査（環境省東北地方環境事務所）
- (2)カモ科鳥類生息調査（宮城県、年3回）
- (3)安定同位体比を用いた食物網解析（東北大学東北アジア研究センター）

3 出前講座の開催状況

開催日	団体名	テーマ	参加者数
6月22日	登米市立新田小学校	伊豆沼の生き物についての講話	26名
11月8日	登米市立新田小学校	伊豆沼の環境保全活動の見学	26名
11月30日	登米市立新田小学校	伊豆沼の環境保全についての講話	26名
	3団体		78名

※ 予算内訳 収入 財団 計 430万円
 支出 計 440万円

☆ 自主事業収支

（単位：千円）

自主事業区分	収入	支出	収支
自然体験講座	110	110	0
フォトコンテスト	1,100	1,110	0
クリーンキャンペーン	50	40	10
調査研究・普及啓発	4,300	4,400	△100
合計	5,560	5,660	△90